



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



令和6年6月1日号
発行

自民党

神奈川1区支部
発行責任者
平木 茂

6月号
2024年

No.255

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/>

ご意見箱▶opinionbox@jun.or.jp

誰もが平等に自立でき、共生できる社会を創っていきます

金沢区どたばた子育て応援隊 9月に「まんまるおんがくげき」開催

国会議員になると、必ず専門の委員会に所属します。普段テレビでご覧になれるのは、予算委員会や本会議などだけですが、各種の予算や法律は専門別の委員会で審議・採決され、その結果が本会議で諮られ最終的に法案が成立していきます。

松本純は初当選以来、薬剤師としての知識と知見を生かすべく厚生労働委員会に属し、長きにわたり厚生労働行政に携わってきました。

そうした中で、松本が障害者福祉にも深く関わってきたことは、あまり知られていないかもしれません。自民党の社会保障制度調査会・副会長、障害者特別委員会・事務局長、障害児者問題調査会・副会長として、20年近く障害者総合支援法や障害者権利条約などの法改正等に取り組んできました。

先日、その特別委員会委員長、調査会会長として議論をけん引された衛藤晟一参議院議員にお話を伺いました。

「当時はまだ障害者は可哀そうというイメージもありましたが、それを変えようと松本先生と一緒に頑張りましたね。皆さんに何かをしてあげるのではなくて、地域の中で一緒に暮らせるようお手伝いをする、ということによってやってきました」。「やり始めた頃から比べて、国の予算が国費ベースで約5倍の2兆を超える額になったことは大変大きな成果です。関係団体が非常に多いのですが、さらに政策を活かすため、今まで以上にご意見を丁寧に聴いていきたいです」。

「また、自助・共助・公助という三つの原則を作り、そして自立と共生ということを目指してやってきましたが、これからはボランティアの皆さんの力もとても大切で、その頑張りですさらに障害福祉環境は変わっていくのではないのでしょうか」……。当時の成果や現在の状況について、話は尽きませんでした。

さて、地元の横浜市でも色々な活動が行われています。その中のひとつ、金沢区を拠点とする「どたばた子育て応援隊」は、障害のある子どもを持つ母親と、それを支える人たちで立ち上げた団体です。この秋にはどたばた子育て応援隊主催で、「まんまる音楽劇」の上演が予定されています。

障害がある・ないに関係なくさまざまな特徴を持ったお子さんが一緒につくりあげる音楽劇で、現在お稽古を進めているそうです。

地域社会の皆様やボランティアの方々のご取り組みで、誰もがお互いを認め合い、バリアのない社会が築かれることを期待しています。松本純もこうした活動をしっかり応援していきたいと思っております。

障害のある方もそうでない方も、皆が平等に、自立し共生できる環境を創りたい。「より良い明日」を目指して、松本純はこれからも力を尽くしてまいります。



自民党で共に障害者問題に取り組んだ衛藤晟一参議院議員と



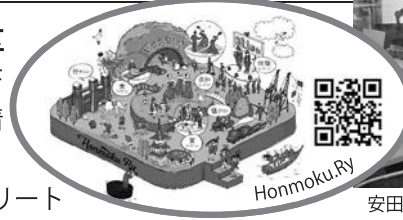
いま地域で
(ひと・まち・出来事)

Honmoku.Ryってナニ？

本牧リボンファンストリート商店会・山手地区商店街連合会会長 **羽生田靖博さん**

30年以上も前からお世話になっている羽生田博さんは、中区本牧で安田屋呉服店を経営されていました。その安田屋ビルの2Fは、現在 HONMOKU BASEというマリンFM放送局を併設した情報発信型地域コミュニティスペースとなっています。

そのHONMOKU BASEに事務局をもつ本牧リボンファンストリート商店会と山手地区商店街連合会で会長をつとめるのが羽生田靖博さん(ご長男)、今回はHonmoku.Ry(リョウ:領)の取り組みについてお話を伺いました。Honmoku.Ryとは2024年4月16日にオープンした本牧エリア一帯を仮想テーマパークとして紹介するサイトです。ホームページ内では「食べたい」「行きたい」「買いたい」「働きたい」などテーマごとに店舗や施設が紹介されています。新しい切り口で歴史ある本牧の地域を紹介することで、外からのお客様だけではなく地域に住む人にも、もっと本牧に興味と愛着を持ってもらいたいと羽生田さんは話します。本牧には450年を超える歴史を持つお馬流しの祭りや、三溪園、周辺には、君が代発祥の地である妙香寺(妙香寺台)といった多くの名所に加えて魅力的な店舗がいくつもあります。それらを大切に、地域に安定した循環を生み出すための新しい試みが始まりました。



安田屋ビル 2Fの HONMOKU BASEにて

[2024年 5月]

松本純の活動記録

- 3日●吉田まち春一番ビアガーデン2024
- 9日●横浜青年会議所不動産部会主催・異業種名刺交換会
- 11日●自民党中支部役員会
- 12日●麦田町元気朝市
●第61回金沢ふれあい文化祭
- 14日●吉田町町内会・名店街会役員会・市況研究会

- 15日●日本保険薬局協会20周年記念式典
- 16日●令和6年度横浜市中区食品衛生協会懇親会
●神奈川県猟友会令和5年度第16回通常総会(表彰)
- 17日●磯子区商店街連合会・第61回通常総会後の懇親会
- 18日●琉球古武道協会懇親会
- 19日●石川町裏フェス



5/5 横浜成田山春の例大祭 ●春の例大祭奉修に地元町内会役員の皆様と共に御座りいただきました。大導師酒水加持に続き、筒井照琢主監より別院で野毛大道芸が開催されたことへの謝辞が述べられました。



5/11 日ノ出町青年会総会終了後の懇親会 ●日ノ出町町内会館で開催された懇親会にお招きいただきました。高木克之新会長に松本純も祝辞を送り、原聡祐県議、松本研市議も参加され和やかな会となりました。



5/12 日本太極拳友会第4回友好団体交流演武大会開会式 ●三代正廣会長ご挨拶の後、松本純名誉会長は「太極拳スポーツを通じて互いに信頼できるような日中友好が発展していくことが大切」と祝辞を述べました。



5/19 大岡川水上劇場2024 ●横浜日ノ出町駅前商店会・高橋洋一会長の号令でサンパレードが始まりました。

永田町日記

7月3日より新札が発行されます

デザイン一新の一万円札、五千円札、千円札

2024年7月3日より一万円、五千元、千円の新デザインのお札が発行されます。紙幣のデザインが変わるのは2004年以来、実に20年ぶり。発行の目的は「にせ札防止」です。今回は最新の3Dホログラム技術が導入され、お札を傾けると3次元の立体画像が回転しているかのように見える工夫が施されています。この技術が紙幣偽造防止に採用されるのは世界初とのことです。

新札といえば毎回、歴史的人物の肖像画が話題となります。人の顔や表情のわずかな違いに気がつく人間の目の特性を利用するため、新札の一万円札には明治を代表する実業家・渋沢栄一氏、五千円札には女子教育家で女子英学塾(現・津田塾大学)創始者の津田梅子氏、千円札には「近代医学の父」北里柴三郎氏が採用されています。

新しいお札が発行されると「今持っている旧紙幣は使えなくなるの?」と心配する方が多いかもしれませんが、古いお札も今まで通り問題なく使えます。新札が発行されると詐欺行為(振り込め詐欺)が増えます。「新しい紙幣と交換します」「発行開始日より前に特別に新紙幣をお渡しします」等々、人を騙そうとする勧誘行為にはくれぐれもご注意ください。



※画像提供・国立印刷局
ホームページより